

| | | | |
|-----|--|-------|-------|
| 科目名 | 都市構造物施工学 Structure Fabrication Technology of Civil Engineering | 科目コード | A3120 |
|-----|--|-------|-------|

| | |
|----------|-----------------------|
| 学科名・学年 | 環境都市工学専攻・2年（プログラム4年） |
| 担当教員 | 岩波基（環境都市工学科） |
| 区分・単位数 | 2単位・選択 |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義28，その他2】 |
| 教科書 | |
| 補助教材 | プリント |
| 参考書 | |

【A. 科目の概要と関連性】

都市構造物のうち、コンクリート工事、盛土工事、建築構造物の根切り工事や基礎工事、および、トンネル工事における施工方法と設計方法を学習し、土質力学や構造力学等の基礎知識との関連を確認すると共にそれらを復習する。また、工事現場の事故事例を題材に用いることで、専門分野における知識の重要性を認識させる。

○関連する科目：構造力学(1)、構造力学(2)、コンクリート工学(1)、コンクリート工学(2)、地盤工学(1)、地盤工学(2)

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|------------------------------|-------|---------------|
| ①都市構造物施工方法と構造設計の基本を理解する。 | 100% | D1 |
| ②本科で学習した基本知識と実際の工事との関連を理解する。 | | |

【C. 履修上の注意】

特になし。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（80%）
- その他（20%）【予復習のレジメ等】

【E. 授業計画・内容】

● 前期

| 回 | 内容 | 課題 |
|----|--------------------|--------------------|
| 1 | コンクリート工事の施工法と設計（1） | 各項目対象プリントの予復習を作成する |
| 2 | コンクリート工事の施工法と設計（2） | 〃 |
| 3 | コンクリート工事の施工法と設計（3） | 〃 |
| 4 | 盛土工事の施工法と設計（1） | 〃 |
| 5 | 盛土工事の施工法と設計（2） | 〃 |
| 6 | 根切り工事の施工法と設計（1） | 〃 |
| 7 | 根切り工事の施工法と設計（2） | 〃 |
| 8 | 根切り工事の施工法と設計（3） | 〃 |
| 9 | 根切り工事の施工法と設計（4） | 〃 |
| 10 | 基礎工事の施工法と設計（1） | 〃 |
| 11 | 基礎工事の施工法と設計（2） | 〃 |
| 12 | トンネル工事の施工法と設計（1） | 〃 |
| 13 | トンネル工事の施工法と設計（2） | 〃 |
| 14 | トンネル工事の施工法と設計（3） | 〃 |
| 15 | レポート及び試験等解説と発展授業 | |